

UNESCO フォーラム KIS 参加生徒の座談会



今回の「日中韓高校生フォーラム」にKISを代表して5名の生徒たちも、初めての国際会議の企画や運営に戸惑いながらも、奮闘しました。

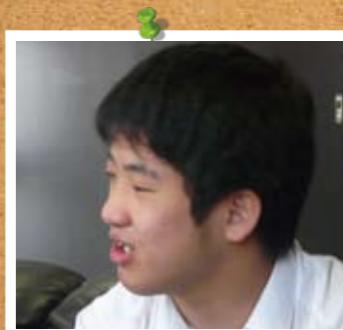
そして韓国や中国をはじめ日本全国から参加したユネスコスクールの仲間たちと、2日にわたりさまざまな論議や交流を深めました。生徒たちが体験した今回のフォーラムの感想や後輩たちに伝えたい想いを熱く語り合いました。



姜瑜珍(高等部2年生)



朴荀善(高等部1年生)



鄭俊(高等部2年生)



金蓮姫(高等部2年生)

「アーリー」の過程で経験したさまざまな違いや葛

前を右に見て、自分で烹鳴がおこなう

に、さまざまな問題が発生した場合に他の部署と連携しながら問題を解決していく役割でした。

主に仕事を担つたり、「干渉」するなど聞いていましたが、そういうことはなかつた。部署のなかでは、高校生だけで動いていました。忙しかつたです。当曰は、すぐくスムーズに運営できました。

妻俞珍 私は同会進行を担当しません。まとめるのが結構しんどかった。

トすべき先生や大学生たちが仕切り、高校生が受身になっていた印象を持ちました。議長団はレクチャーを受けて分からぬ箇所は教えてもらつたが、宣言文を作成する過程でも、ここはこうまとめよう、ここは抽象化させようと、基本は高校生が自分たちで決めてらしく感ぜらリミ

今回おこなったことを通じて
学んだことなどについて聞かせて
ください。

今回の「」を進めて
学んだことなどについて聞かせてください。

金蓮姐 私はK-1-Sでこの「ハボーリー」
ムの参加募集について聞いたときに、「すごい」と思った。「高校生による、高校生のための」国際フォーラムというのはカッコイイと思って参加しました。その期待が大きかつたが、参加してみると「こんなもんか」という感じでした。

K-1-Sが特殊なのか(笑)、私たちが普通考えていることが、他の学校の生徒たちにとつて、そうではないということが多いかった。

例えば、事前セミナーや会議の中でも「私たち日本人とか、外国人を招

のトップクラスに絞るのはよくないから抽象的には仕方がないとか。会議の前日は、夜遅くまでは論議をしましたね。

— 今回の国際会議での各自の役割やエピソードがあれば聞かせてください。

私は「オツキーナ」といふ部署で、当日海外ゲストをサポートはじめ全国の高校生30名ぐらいで構成された役割の責任者でした。北海道をはじめ全国から参加する事前セミナーが一度ありましたが、実際に全員が顔を合わせるのは、当日だけでしたから、「私、何をすればいいですか」と聞いてきたりするメンバーも少なくなかつた。

他の部署は少人数でしたが、「オツキーナ」は構成人数も多く、参加意識もばらつきがありました。「なんで、参加したのかな」という否定的な弦きもメンバーのなかからも漏れ聞こ

仕事は控除の経費など皆をまとめる第一歩の部署だと感じました。議長団が宣言文をまとめているときに、空いた時間のなかで高校生の参加者へのインタビューや韓国から参加したゲストの先生や生徒に対して韓国語で通訳をしたりもしました。

行動を起こす場合、今後の方向性がどうあるべきなのかということを考えることはとても重要だ。（鄭俊）

フォーラムを経験した今、五人の中に「発信する力」が備わったと感じた。(金蓮姫)

姜瑜珍

KISの生徒は発言の回数も内容も、他校と比べてアグレッシブであったと思う。高校生の参加スタッフが持つおりの中に、「皆で一生懸命に拍手をしよう」とか書いてありました(笑)。「そんなこと書いてなくとも分かるやん」。同会では本当に大學生や先生の「口出し」が多くて。

「どれぐらい

「ALWAYS(いつも)」です(笑)。

私が司会進行で進めて、まるで上書きするように先生が同じことをやるんですよ。モチベーションを下げるところなく、自分なりに頑張りました。

朴苑善

私たちはホスト国で日本側ですね。他の人たちは日本人としてまとめられても不思議に思わない。私たちを見て他の参加者の多くは日本人じゃないとも思わない。KISで学んでいるし、自分のルーツ(日韓の二重国籍)を考えるからこうしたことに対する敏感な反応する自分がいる。

日本の中にも民族的マイノリティの生徒はいるのに、日本人として括りにされる「鈍感な」マジョリ

ティ側の意識があります。

鄭俊 宣言文を作成するときに感じましたが、行動を起こす場合に、今後の方針性がどうあるべきなのかということを考えることはとても重要なことを学びました。

姜瑜珍

終わってからこのフォーラムのよかつたところがいろいろ見えてきた。フォーラム前に何回もミーティングを持ち、私たちのテーマや目標を定めて臨んでいました。

金蓮姫 終わった後も、KIS内で必ず一回ごとに報告会を放課後に持ってきてきました。自分たちが経験したこと、感じたことを「発信」し続けました。

朴苑善

私たちも、KIS内で必ず一回ごとに報告会を放課後に持ってきてきました。自分たちが経験したこと、感じたことを「発信」し続けました。

姜瑜珍

終わった後も、KIS内で必ず一回ごとに報告会を放課後に持ってきてきました。自分たちが経験したこと、感じたことを「発信」し続けました。

朴苑善

私たちも、KIS内で必ず一回ごとに報告会を放課後に持ってきてきました。自分たちが経験したこと、感じたことを「発信」し続けました。

鄭俊 後輩たちに伝えたいことは、「外」を見てきて欲しい、ということです。KISが育成しているのは「越境する力」ですよね。その力は外に出で初めて發揮されるのです。KISで学んだことを「外」に出て試してみたり、その場でべつの新しい発見もあるだろうし、「外」に出れば社会は変わるもの、と。

姜瑜珍 私も鄭俊と同じ意見です。自己的ために、KISのために、その



座談会を振り返って KIS事務局長 宋悟



座談会の内容を聞きながら、KIS生徒たちが今回のフォーラムの経験を生かしながら、将来のグローバルリーダーの「ひな形」に成長していくことを実感できた。「今後の方向や目標を設定すること」、「臨機応変の対応」、「伝える力」、「アグレッシブな行動」などリーダーシップを考える時に重要なキーワードが、生徒たちの口から語られた。

グローバル化が加速し、既存の仕組みや価値観が大きく転換する現代にあって、予測可能な「正解」などどこにもない。持続可能な社会をつくるうえで、多様性をハンドリングしながら、成果目標に到達していくためのリーダーシップ力を育むことは、次世代教育にとってますます不可欠になるだろう。こうした力は本来、「上から目線」、「命令口調」、「カリスマ」などとは無縁のものだ。日常の生活のなかでも、肩書に関わらず誰もが求められるものだ。

折しも、今年度(2013年度)からKISでも池田副校長と英語科のジェレミー先生が中心となって、「リーダーシップ学」(仮称)の授業が英語と日本語で開講される。今後KISの「名物」授業に発展していくことだろう。「変化に対応する力」より「変化を創りだす力」を。今後に期待したい。

私はリーダーとして、こうした方向にもついていきたいという思いや経過説明をしても、理解されなかつた。受身になつて聴くだけではなく、どちら位置を明確にしていないと、行動を起こす時に判断ができるないといううことを考えることはとても重要なことを学びました。

朴苑善

私はリーダーとして、こうした方向にもついていきたいという思いや経過説明をしても、理解されなかつた。受身になつて聴くだけではなく、どちら位置を明確にしていないと、行動を起こす時に判断ができるないといううことを考えることはとても重要なことを学びました。

朴苑善

私はリーダーとして、こうした方向にもついていきたいという思いや経過説明をしても、理解されなかつた。受身になつて聴くだけではなく、どちら位置を明確にしていないと、行動を起こす時に判断ができるないといううことを考えることはとても重要なことを学びました。

朴苑善

私はリーダーとして、こうした方向にもついていきたいという思いや経過説明をしても、理解されなかつた。受身になつて聴くだけではなく、どちら位置を明確にしていないと、行動を起こす時に判断ができるないといううことを考えることはとても重要なことを学びました。

姜瑜珍

私はリーダーとして、こうした方

朴苑善

最初は校内でも知らない間に、KIS内に「ユネスコクラブ」を作ろうと思います。高等部3年生は受験なので「引退」して、早くもOGですが、私や瑜羅が中心となつて、これまで報告会をやり続けてきました。中等部1年生も参加の意志を表明してくれて、とても嬉しかった。これでも8名が名乗りを上げてくれました。中等部1年生も参加の意志を表明してくれて、とても嬉しかった。これまで報告会をやり続けてきました。これは無駄じゃなかつた、と。

朴苑善

最初は校内でも知らない間に、KIS内に「ユネスコクラブ」を作ろうと思います。高等部3年生は受験なので「引退」して、早くもOGですが、私や瑜羅が中心となつて、これまで報告会をやり続けてきました。中等部1年生も参加の意志を表明してくれて、とても嬉しかった。これまで報告会をやり続けてきました。これは無駄じゃなかつた、と。

朴苑善

最初は校内でも知らない間に、KIS内に「ユネスコクラブ」を作ろうと思います。高等部3年生は受験なので「引退」して、早くもOGですが、私や瑜羅が中心となつて、これまで報告会をやり続けてきました。中等部1年生も参加の意志を表明してくれて、とても嬉しかった。これまで報告会をやり続けてきました。これは無駄じゃなかつた、と。

朴苑善

最初は校内でも知らない間に、KIS内に「ユネスコクラブ」を作ろうと思います。高等部3年生は受験なので「引退」して、早くもOGですが、私や瑜羅が中心となつて、これまで報告会をやり続けてきました。中等部1年生も参加の意志を表明してくれて、とても嬉しかった。これまで報告会をやり続けてきました。これは無駄じゃなかつた、と。

今ではKISのなかで、放課後に生徒たちの自主的な「報告」プレゼン会が行われるのは普通になつた。(姜瑜珍)

朴苑善

外に出れば自分の小ささも、逆に大きさも分かると思います。今回のフォーラムも参加した後に、自分の財産になつていると言いかれます。フォーラム自体に意味がある。普通高校生であまりプレゼンは、やらないと思います。KISでは中等部でもやりますが、そんな機会はめつたにないと思います。

姜瑜珍

私はKISに中等部1年から通っているので、中等部から高等部

に進学するときに自分のなかで何が変わるのが悩みました。このまますんなりと高等部に上がり卒業するのにはいやだな、と思って何か「でかいことをやりたいな」と思つて(笑)。今日は自分にとって何か変われる良い機会になると思った。フォーラムを経験して強く思ったのは、自分を強く持たないと、世界では生きていけないかなと。自分を強くするために、自分にもつと問い合わせ続けたい。

姜瑜珍

私はKISに中等部1年から

朴苑善

最初は校内でも知らない間に、KIS内に「ユネスコクラブ」を作ろうと思います。高等部3年生は受験なので「引退」して、早くもOGですが、私や瑜羅が中心となつて、これまで報告会をやり続けてきました。中等部1年生も参加の意志を表明してくれて、とても嬉しかった。これまで報告会をやり続けてきました。これは無駄じゃなかつた、と。

朴苑善

